

沖縄県と三井住友海上火災保険株式会社の
包括的連携協定締結に係る代表者コメント

○ 沖縄県知事 玉城デニー

本日の「包括的連携協定」の締結により、県が目指す持続可能な沖縄の発展と誰一人取り残さない地域社会づくりのために、三井住友海上火災保険株式会社と8項目にわたる幅広い分野で連携していくこととなり、大変心強く、嬉しく感じている。

「安全と安心の提供」、「活力ある社会の発展」、「地球の健やかな未来」を経営理念に掲げ、SDGsの推進や地域の社会的課題の解決に取り組む同社と連携・協力し、地域の活性化と県民サービスの向上に向けた様々な取組を推進することで、「持続可能な沖縄の発展」と「誰一人取り残さない社会」の実現に繋げていきたい。

○ 三井住友海上火災保険株式会社
取締役社長 原 典之

弊社は、今年10月に創立20周年を迎える。この節目の年に沖縄県と包括協定を締結できることを大変嬉しく思う。

弊社は目指す社会像を「レジリエントでサステナブルな社会」と定め、SDGsを道しるべとして社会との共通価値の創造（CSV：Creating Shared Value）に取り組んでいる。

この協定により、沖縄県と連携して地域の社会的課題の解決に取り組んでいくことはCSV取組そのものと考えている。

弊社の有する商品・サービス、弊社の強みである国内外のネットワーク等の提供により、沖縄県のさらなる発展に貢献していきたい。